

戸籍に読み仮名いつから？

12月議会
議案質問

マイナンバー制度システム改修に約1400万円

日隈市議は12月13日、マイナンバー制度システムの改修に約1400万円を使う補正予算を質問。国がシステム改修費の全額を出さない理由や、読み仮名の届け出がいつから始まるのかを聞きました。



戸籍謄本	
よみがな	ひ た たろう
氏名	日 田 太 郎

政府は2025年春から、戸籍にのる氏名の読み仮名を全ての国民に届け出てもらう方針です。戸籍法の改定にもなうもので、全国の市町村が26年春まで受けつけます。



▶「システム改修費の全額を国に求めよ」と質問する日隈市議

日隈市議は「政府のマイナンバートラブル総点検で、氏名や住所などが一致しないデータが約139万件もあることがわかった。その多くは漢字・仮名表記などの違い。国がシステム改修費の全額を出さず、なぜ市が約450万円を出してシステム改修しなくてはいけないのか」と質問しました。

市民環境部長は「国の補助は日田市の人口をもとに約950万円になる。県内の市町村でも、国の補助金では足りない（津久見市を除く）。くわしいことが国から示されておらず、国の動向を注視する。今後、補助金の増額を求めていきたい」と答えました。

人口減など3テーマで討論

12月議会
議員間討論

東九州新幹線は夢と希望を運ぶのか？

日田市議会は12月12日、3つのテーマ（人口減少対策、給食費無償化、東九州新幹線）で討論。日隈市議は「東九州新幹線は夢と希望を運ぶのか」と、議員に意見を求めました。



▲スライドを使って県の東九州新幹線調査報告書を説明する日隈市議（写真中央の奥、12月12日）

大分県は先月、東九州新幹線調査報告書を発表。福岡市から大分市までの区間について、日豊本線ルートとJR久大本線ルートと比較するため調査した結果をまとめています。

日隈市議は、比較調査の前提が、中間駅はひとつしか設けないこと（JR久大本線ルートは由布院？）、駅や新幹線の車両基地の建設費は2015年の単価計算を使っていることなどの問題点を指摘しました。

さらに、西九州新幹線に反対した佐賀県鹿島市の桑原允彦市

長が今年6月3日、福岡で開催されたシンポジウムでのビデオメッセージを紹介。「私は、市長在任期間5期20年のうち17年間を長崎新幹線問題と向き合ってきました。今、振り返って考えますと、地方の主権を尊重するのか、しないのか、また、我々側から言いますと、守れるのか、守れないのか、という闘いであったと思います」と語っています。

東九州新幹線について、ひとりひとりの市議が考えを出し、討論。三古議長は、まとめで「いざににしても東九州新幹線の開業はかなり先のことになるが、引き続き議論していいこと」と提案しました。このほか2つのテーマで、議論を交わしました。